



あくしゅ

第 64 便

～院長より新年のご挨拶申し上げます～



地域連携室



謹んで新年のごあいさつ申し上げます。

昨年、2018年を振り返ってみると社会においても、当法人においても、さまざまなことがありました。公益財団法人 日本漢字能力検定協会が毎年応募をしている「今年の漢字」において、第1位に選ばれた一文字は、みなさんご存知の通り、「災」でした。昨年は、全国的に地震、豪雨、台風、猛暑などの自然「災」害の脅威を痛感した一年であり、仮想通貨流出、パワハラ問題、文書改ざん、不正入試問題などの事件が発覚し、多くの人々がこれらの出来事を「災」とらえたため、選ばれたようです。ちなみに、第2位「平」第3位「終」だったそうで、平成の年号が終わりを迎えようとしていることを改めて感じさせられ、少し寂しさも感じられました。

当法人においては、常勤医4名中2名が突如の体調不良により、入院を余儀なくされ、非常勤医の急遽の欠員もあり、一時はどうなることかと、冷やりとしたこともありました。他医療機関の諸先生方のご支援や職員みなさんの協力があったからこそ、つつがなく、新年を迎えることができたものと思っております。この場をお借りして、改めて、感謝申し上げます。

昨年の漢字は、なんとも不吉な「災」の一文字でしたが、全国的に防「災」の意識が高まり、多くの人々が自助共助の大切さを再認識した年でもあったとも言われており、「災い転じて福となす」のことわざがあり、昨年の「災」の経験を活用し、役立つものとしてとらえていくことが大切であると考えております。

裏へ続きます

我々の業界においては、安心・安全の質を高く求められており、自らが、「災」を作り出さぬようにする仕組み作りが大切です。一昨年から、病院内において、看護部が中心となり、業務の見える化活動を推進しており、昨年は、おかげで、職員間の連携がよりスムーズになっております。

また、各職員から業務改善提案を出しやすくする仕組み作りができ、昨年1月19日に開始し、年末までに313件の業務改善提案がありました。今年は、さらに多くの改善が上がってくるものと思われ、職員みなで法人をさらに改善していくよう磨き上げて参ります。

最後に、昨年はさまざまなことがあり、気が晴れない日もありました。そんな中、励まされ、助けられた言葉があります。もしかするとお読みいただいた方のお役にたつかも知れないと思い紹介させていただきます。

「アイデアいっぱいの人には深刻化しない」ポール・ヴァレリー

苦難があっても、深刻化せぬよう、みなで知恵を振り絞り、今年も励んで参ります。本年がみな様にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

今年もどうぞよろしくお願い致します<(_)> 地域連携室一同

<基本理念>

私たちは利用者の人間性を尊重し、
保健と医療と福祉の研鑽につとめ、
地域社会に貢献します。

柴田病院 〒753-0221 山口大内矢田北五丁目11番21号

| | | |
|---|-------|--------------|
| ☎ | 代表番号 | 083-927-2800 |
| ☎ | 地域連携室 | 083-927-1847 |

介護老人保健施設アークス

| | | |
|---|----------------|--------------|
| ☎ | 代表番号 | 083-927-8363 |
| ☎ | 居宅介護支援事業所アークス | 083-941-2001 |
| ☎ | ヘルパーステーションアークス | 083-927-8325 |

訪問看護 〒753-0221 山口市大内矢田北五丁目12番7号

| | |
|---|-------------------|
| ☎ | 訪問看護ステーションアクティブ大内 |
|---|-------------------|